

PdMetrics®

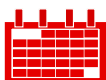
予測保全ソフトウェア プラットフォーム



PdMetrics®は、お客様の熱処理設備に総合的な予測保全メンテナンスソリューションを提供する革新的なソフトウェアプラットフォームです。

Ipsenが納入した一万を超える納入実績を基にしたノウハウを活用して開発された、PdMetrics®は炉体に取り付けられたセンサーを通してネットワークに繋がり、データを収集、分析した上で、その診断結果を提供します。ユーザーフレンドリーなダッシュボードが、リアルタイムに炉体の状態、レポート、アラームを提供します。

Ipsenは背後で、アルゴリズムを実行、改善しながら、偏差を探します。偏差がダウンタイムのリスクにつながる場合は、通知によりユーザーは適切な是正措置を講じることができ、オペレーターはよりスマートに作業できます。



作業停止する前に、事前メンテナンスを予測します。



事前に必要在庫を決定することができたり、問題が致命的になる前にその問題を是正できるので、予定外の停止時間を短縮することができます。



炉体の稼働履歴や性能履歴に基づいて予測し、工事の計画ができます。

特徴

- 複数の炉体を統合してスクリーンに表示可能です。
- 携帯電話等のモバイル端末を活用し、ユーザーはいつでもどこでもPdMetrics®からのアラートを受信できます。
- Ipsenの安全なサーバーを介した技術サポートにより、Ipsenのエキスパートはデータにすばやくアクセスし最適なサポートを提供できます。

セキュリティ

- PLCから独立して動作するスタンドアロンシステムを使用して、お客様独自のデータをプライベートに保ちます。
- 安全な産業用のソフトウェア規格に準拠
- アップデートとパッチは自動更新中にデータを安全に保ち、ユーザーが新しいPdMetrics®の機能へのアクセスできるようにします。


高機能な監視と診断

コストのかかる停止時間を回避

PdMetrics®予測保全プラットフォームの最終目標は作業の費用対効果が最も高く、機器のパフォーマンスが設定された閾値を下回る前に、定期メンテナンスを実行することです。

高コストを回避し、炉の稼働率と信頼性を高め、頻繁な修理の必要性を減らし、予期しないダウンタイムによる人員の保守負担の最小化など、いくつかの利点があります。

費用対効果例

実 例		PdMetrics あり	PdMetrics なし
1	冷却ファン ベアリング破損	費用：約12万円 所要時間：半日	費用：約200万円 所要時間：4週間
2	電極ターミナル水冷却温度 ヒーター交換回避	費用：約12万円 所要時間：半日	費用：約600万円 所要時間：半日
3	ヒーター断線 処理品の不良化を排除	費用：約4万円 所要時間：30分	費用：約110万円 所要時間：1日
4	ヒーターと接地間抵抗 加熱室の保護	費用：約1.5万円 所要時間：3時間	費用：約50万円 所要時間：3日間
		合計所要時間 1日間 3.5時間 総費用 約30万円	合計所要時間 32日間 4時間 総費用 約960万円

About Ipsen

70年にわたり業界の第一線で培った経験を基に、熱処理技術の向上を至上命題として追及してまいりました。宇宙開発の更なる進展、医療用チタン・インプラントの改良、より効率的な自動車部品やジェットエンジンの開発など広範囲な分野において、実績に裏付けされた応用技術を提供します。

Ipsen株式会社

大阪本社

〒538-0032 大阪府大阪市鶴見区安田2-3-2

TEL:06-7506-9705 / FAX: 06-6915-1132

sales@ipsen.co.jp

www.ipsen.co.jp

